

取扱説明書

ポータブル・ミシン

ユー・エフ・アール

商品型番：**UFR-727**



このたびはBearmax「ポータブル・ミシン|UFR-727」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用前に必ずこの説明書をお読みください。

この説明書は、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しております。この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

■安全のために

本製品は安全に十分配慮して設計されていますが、まちがった使い方をすると火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

警告表示の意味

取扱説明書には次のような表示をしております。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

-  **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
-  **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

【記号の意味】

-  の記号は「注意(警告を含む)をうながす事項」を示します。
-  の記号は「してはいけない行為(禁止事項)」を示します。
-  の記号は「しなければならない行為」を示します。

⚠ 警告

-  ●**交流100V以外の電圧では使用しない**
自動車、船舶などの直流電源には接続しないでください。火災・故障の原因になります。
-  ●**コードをコンセントから抜く**
雷が近づいたら、電源プラグをコンセントから抜いてください。
-  ●**電源コードを傷つけない**
電源コードを加工、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、高温部に近づけたり、重たい物を載せたり挟み込んだりしないで下さい。コードが破損し、火災・感電の原因になります。
-  ●**分解禁止**
この機器を開けたり、改造しないでください。火災・故障の原因になります。
-  ●**水ぬれ禁止**
水のかかるような場所で使用しないで下さい。水などが中に入った場合、火災・感電の原因になります。
-  ●**動いている部分には手を近づけない**
マシン操作中は、針の動きに十分ご注意ください。また、針、プーリー、天びんなど動いている部品に手を近づけないでください。ケガの原因となります。
-  ●**ぬれ手禁止**
ぬれた手で電源コードの抜き差しをしないでください。感電の恐れがあります。
-  ●**点検・修理**
万一、本体を破損した場合は、そのまま使用せず点検修理依頼をしてください。(有料)そのまま使用すると火災等の原因となります。
-  ●**コンセントから抜くときはプラグを持つ**
コードを引っ張ると内部で断線し、感電や発火につながる恐れがありますので大変危険です。
-  ●**お手入れの際は本体各部に直接水をかけない。**
ショート・感電の原因になります。
-  ●**電源プラグは根元まで確実に差し込む**
差込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ、緩んだコンセントは使用しないでください。

⚠ 注意

-  ●**充電は安定した場所で行う**
傾いた場所やぐらついた台などに置くと、落下して怪我や破損の原因となります。また、布や布団などをかぶせたり、包んだりしないで下さい。火災や故障の原因となる場合があります。
-  ●**温度の異常に高い場所で使用しない**
こたつ、(つかいすて)カイロ、電気毛布、ホットカーペット、治療器具(マッサージ器等を含む)などと併用すると、故障や火災の原因となります。
-  ●**調理台や加湿器の付近など湿気やほこりの多い所や、油煙や湯気が当たるような場所に置かない**
火災・感電・故障の原因になることがあります。
-  ●**ミシンの操作中にネクタイ・ネックレス・髪などを周辺に近づけない**
万一引き込まれた場合は、ただちに電源を切って取り除いて下さい。
-  ●**電源は交流100V以外では使用しない。**
火災、感電の原因となります。
-  ●**たこ足配線はしない**
延長コードや分岐コンセントを使用した、たこ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。
-  ●**無理に布地を引っ張らない**
縫製中、布地を無理に引っ張ったり、押したりしないでください。針折れの原因となります。
-  ●**以下のような時は電源スイッチを切り、電源プラグを抜く**
プラグを差し込んだままにしておくと、思わぬ火災や感電の原因となる事があります。
・ミシンのそばを離れるとき
・ミシンを使用しないとき
・ミシンのお手入れをするとき
・ミシンを移動させるとき
・ミシン使用中に停電したとき
-  ●**曲がった針は使用しない**
曲がった針は絶対に使用しないでください。針折れの原因となります。
-  ●**電源コードをコンセントから抜く**
長期間で使用にならない場合、安全と節電のため必ず電源コードをコンセントから抜いてください。
-  ●**雨天時、屋外での使用は絶対にしないで下さい。**
感電や故障の原因となります。万が一水がかかってしまった場合は、直ちに使用を中止してください。
-  ●**異常の際はすぐにご連絡を**
万一、煙が出ている、変な臭いがする、異常音がするなどの状態のときは直ちに使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜いて、販売元にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。お客様による修理は危険ですから、絶対にしないでください。

- このミシンは日本国内向け、家庭用です。海外では使用できません。
- 本書の内容を許可なく無断で複製することは、禁じられておりますのでご了承ください。
- 本書の内容を予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 本書の内容について万一不審な点や誤りなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。

■もくじ

■製品の概要	4
■主な製品の仕様	5
■セット内容	5
■各部の名称	6～7
■準備をしましょう	
本体を準備する	8
ボビンに糸を巻く	9
上糸をセットする	10～11
下糸をセットする	12
■縫ってみましょう	
縫い模様一覧	13
上糸調節／直線縫い	14
ジグザグ縫い／まつり縫い	15
ボタン穴縫い／返し縫い／筒状になった部分を縫う	16
■各部品の取付／取替方法	
押さえを取り付ける	17
針を取り換える	17
■故障かな？と思ったら	18
■よくある質問	19
■付属品の販売	19
■保証とアフターサービス	20

■製品の概要

「ポータブル・ミシン | UFR-727」はコンパクトな家庭用ミシンです。模様選択ダイヤルの組み合わせで18パターンの縫い模様からお選びいただけます。またボタン穴のかがり縫いもでき計19種類の縫い模様パターンを内蔵しています。製品本体は2.2kgと軽量で、ハンドル付きなので簡単に持ち運ぶことができます。スタート・ストップは足元のフットスイッチペダルで操作できますので手元がくるう心配がありません。手元を照らすライトは長時間の使用でも熱くならないLEDライトを搭載しております。本製品を末永くご愛用ください。

■主な製品の仕様

電源	AC100V 50/60Hz DC6V 1000mA
定格消費電力	4W
最大外形寸法(約) 付属品含む	幅：300 × 高：266 × 奥：180mm
最大外形寸法(約) 付属品含まず	幅：300 × 高：266 × 奥：135mm
本体質量(約)	2.2kg
材質	ABS樹脂
生産国	中国

※製品の仕様は予告なく変更する事がございます。

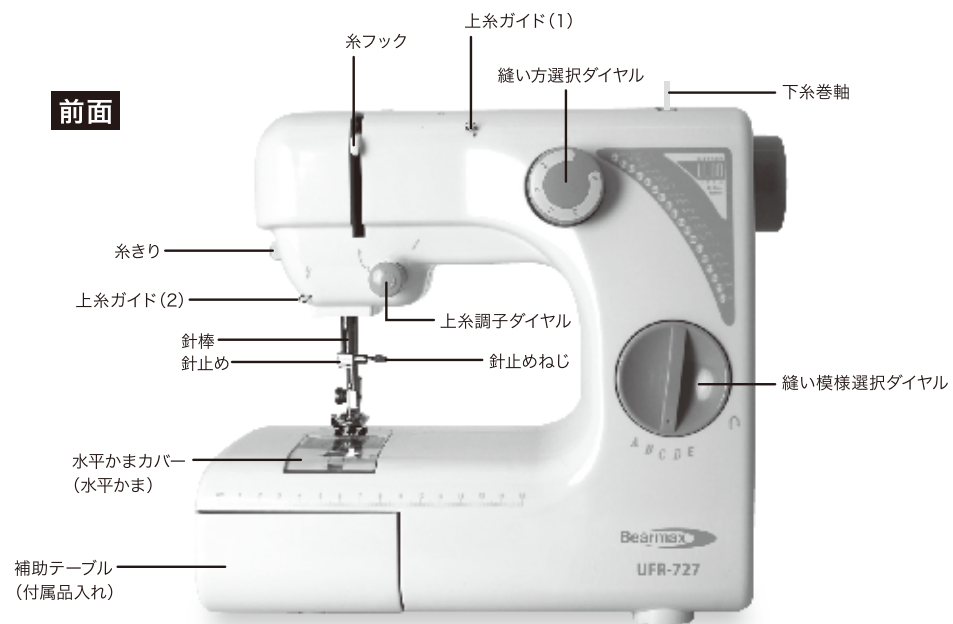
■セット内容

■箱を開封したら、付属品を確認してください。



■各部の名称

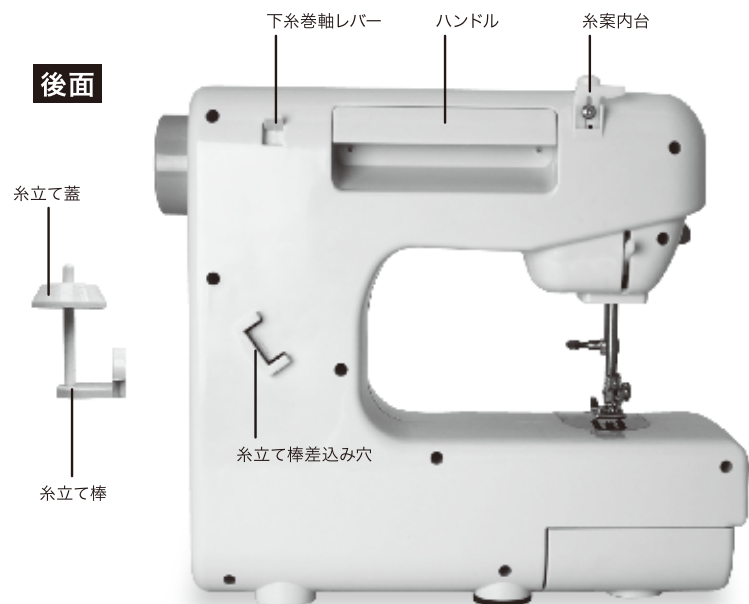
前面



左側面



後面



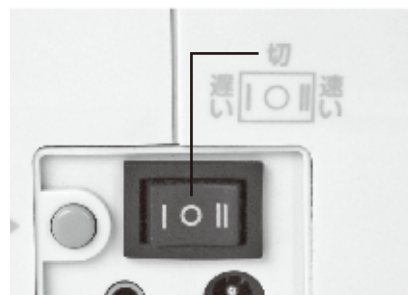
右側面



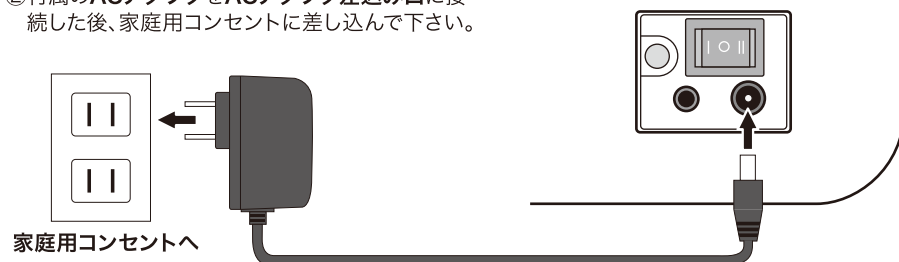
■準備をしましょう

■本体を準備する

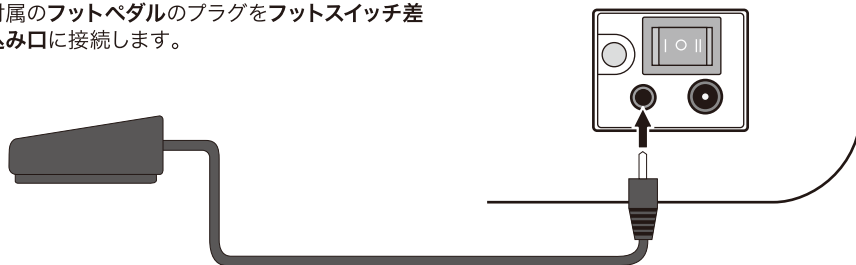
①電源スイッチが切の状態であることを確認します。



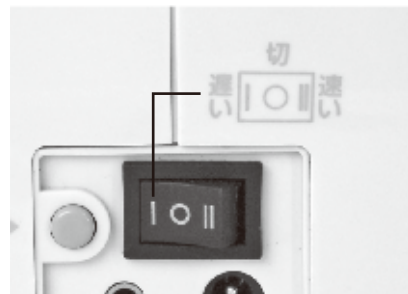
②付属のACアダプタをACアダプタ差込み口に接続した後、家庭用コンセントに差し込んで下さい。



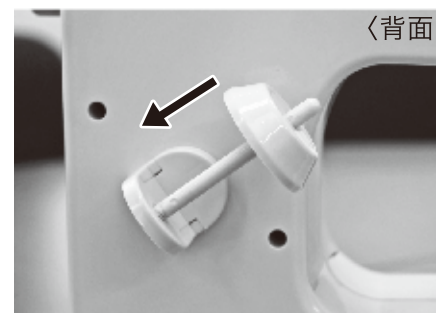
③付属のフットペダルのプラグをフットスイッチ差込み口に接続します。



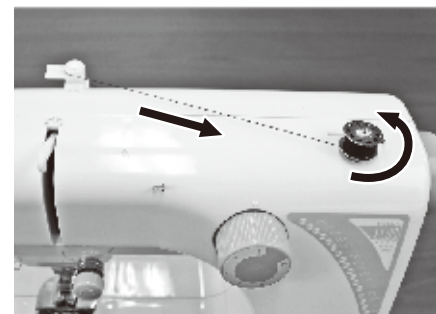
④電源スイッチを遅いもしくは速いの方に押してください。電源が入ります。



■ボビンに糸を巻く ※準備の前に一度電源を切ってください。



①本体背面の糸立て棒差込み穴に糸立て棒を矢印の方向に差込み糸ごまを入れ糸立て蓋をかぶせます。

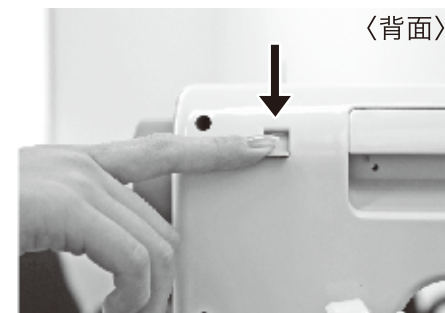


③糸ごまの糸を持って糸案内台を経由して矢印の方向に糸を引きボビンにあらかじめ10巻ほど糸を巻きつけます。

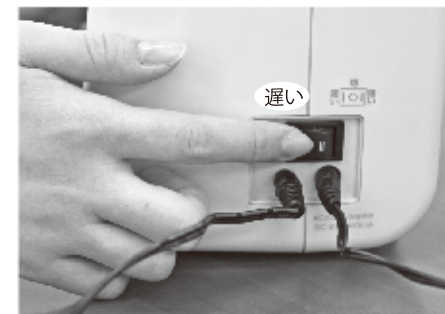


⑤糸を巻き終わったらフットペダルから足をはずしてミシンを止めます。ボビンを下糸巻軸から外し、糸の端を切って下さい。

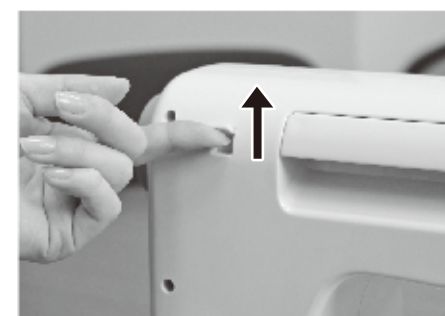
※ボビンに下糸が均等に巻きつける様注意をしてください。上手く巻きつかない場合は、指などを使い調節してください。
※糸ごまは本体に付属されていません。



②下糸巻軸レバーを下に押したまま下糸巻軸にボビンをセットします。



④本体の電源スイッチを遅い側に入れ、フットペダルを踏むと、ボビンが回転し糸を巻きつけていきます。

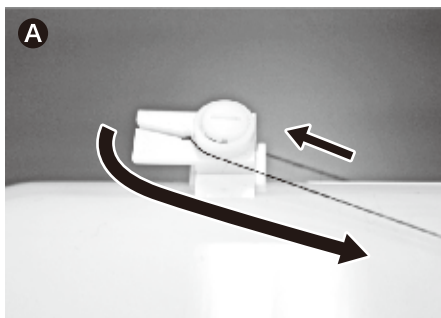
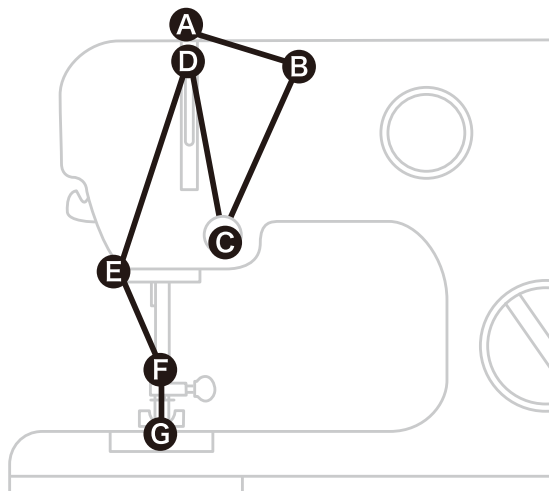


⑥下糸巻軸レバーを上げ元の位置に戻します。

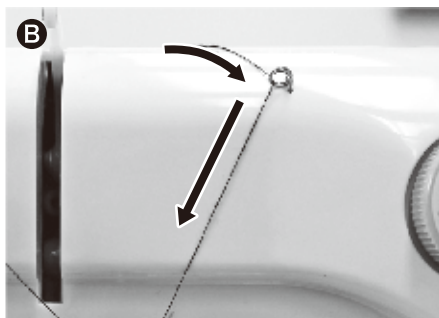
■上糸をセットする

- ①糸立て棒に糸ごまを入れ、糸立て蓋をかぶせます。
- ②プーリーを回し針を最上点まで上げます。
- ③糸を持ちA～Gの順に糸を通していきます。

- A 糸案内台
- B 上糸ガイド(1)
- C 上糸調子ダイヤル
- D 糸フック
- E 上糸ガイド(2)
- F 針止め
- G 針



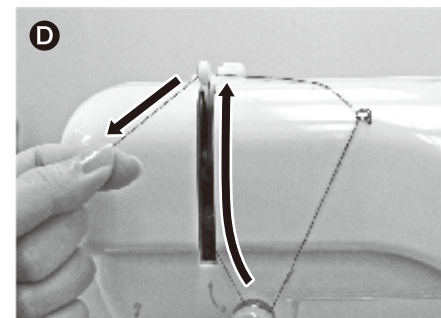
A 糸案内台の溝に糸をしっかりと掛けます。



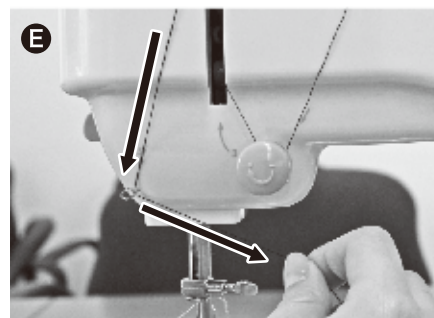
B 上糸ガイド(1)に糸を通します。



C 下側から上側に持ち上げる様にして掛けます。
※上糸調子ダイヤルの手前にあるスプリングに掛けないようご注意ください。



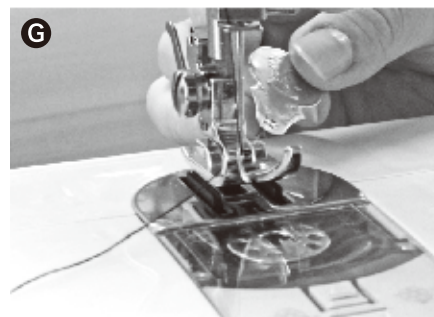
D 糸フックに右側から左側へ通します。



E 上糸ガイド(2)に上側から下側へ通します。



F 右側から糸を通します。



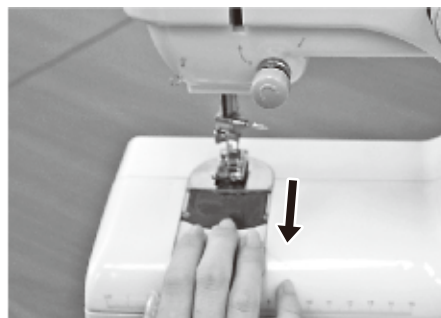
G 手前側から奥側に向かって針穴に通します。
※糸通しを使うと簡単に糸を通せます。

■準備をしましょう (つづき)

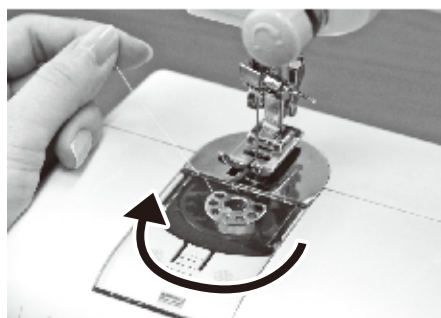
■下糸をセットする



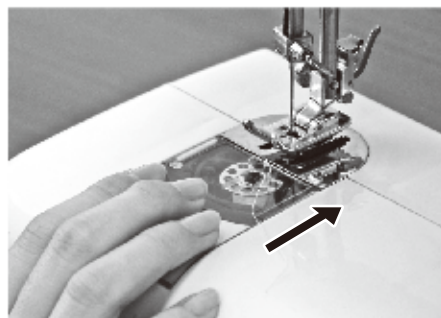
①プーリーを回し針を最上点まで上げます。



②水平かまカバーを矢印の方向に三本指で押しながらスライドさせ、取り外して下さい。



③矢印の方向から糸が出るようにボビンをセットします。



④下糸を図の様に水平かまから出し、水平かまカバーを矢印の方向に取り付けます。

⑤下糸がきちんとセットされている事を確認し、プーリーを数回手前に回し、上糸を軽く引っ張り上げると下糸がついてあがります。

⑥両糸をそろえて押さえのみぞに入れ、押さえの下側を通して後ろへ引きます。

※後ろに引いた糸は10cm程度残しておいてください。



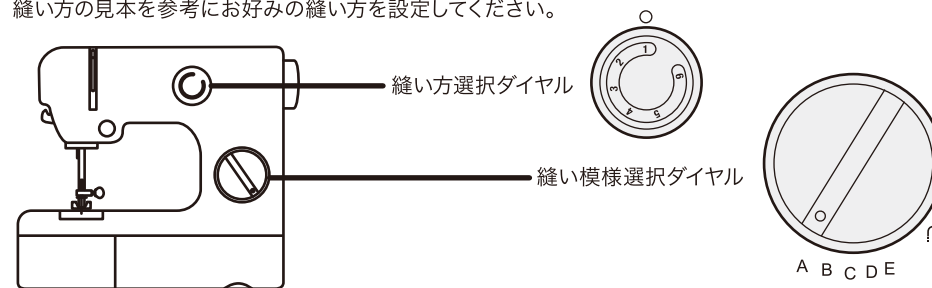
注意

- ・ボビンは必ず正しい方向から糸が出るようにセットしてください。ボビンを逆方向にセットすると針折れや糸調子不良の原因となります。
- ・下糸は正しく巻かれたものをご使用下さい。下糸の巻き方が悪いと針折れや糸調子不良の原因となります。

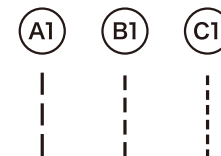
■縫ってみましょう

■縫い模様一覧

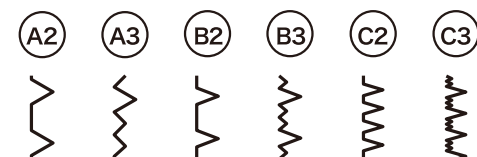
縫い方選択ダイヤルと縫い模様選択ダイヤルを使い、様々な縫い方ができます。縫い方の見本を参考にお好みの縫い方を設定してください。



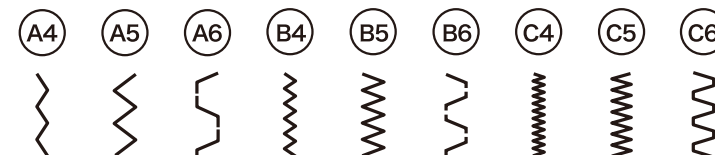
直線縫い



まつり縫い



ジグザグ縫い

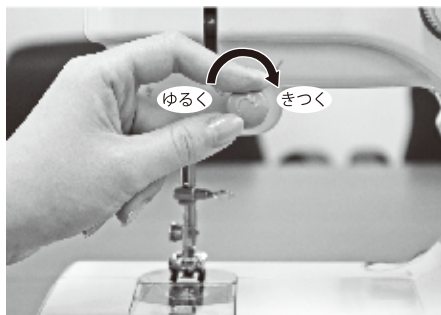


ボタン穴縫い



■縫ってみましょう（つづき）

■上糸調節



布や糸を変えた時は糸調子の調節を行ってください。

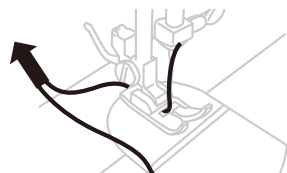
【糸調子の目安】

薄物……ゆるく	裏地・ジョーゼット
普通物…適度	木綿・ジャージ・ウール
厚物……きつく	キルティング・デニム

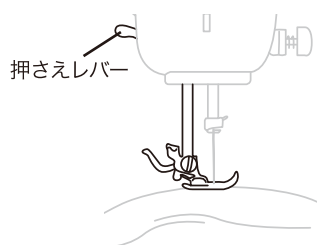
※布や糸の種類によって糸調子は変わりますので、実際にお使いになる生地の切れ端で試し縫いをして、糸調子を調節してください。

■直線縫い

縫い方選択ダイヤル／縫い模様選択ダイヤルをA-1／B-1／C-1に合わせます。



- ①上糸と下糸をそろえて押さえの下から向こう側へ10cmほど引き出します。

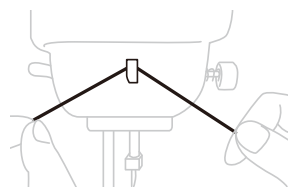


- ②布を押さえの下に入れ、押さえレバーを下げ、押さえを固定します。

- ③フーリーを手前に回して針を布に刺します。

- ④本体の電源を入れ、フットペダルを踏んで縫い始めます。

- ⑤縫い終わったら、フットペダルから足を離し、停止させます。



- ⑥針と押さえを上げ布地を後へ引き出し、糸切りを使って糸を切ります。

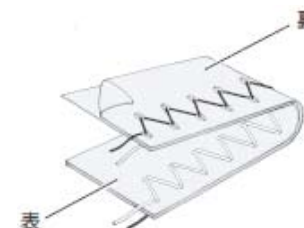
- ⑦切った糸はそろえて後へ引いておきます。

■ジグザグ縫い

端かがり、模様縫いなどに用います。

※ジグザグ縫いの糸調子は、布の裏側に上糸が少し出るように直線縫いより上糸調子をややゆるめにしてください。

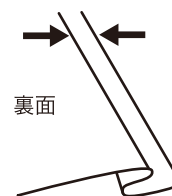
縫い方選択ダイヤル／縫い模様選択ダイヤルをA-4／A-5／A-6
B-4／B-5／B-6
C-4／C-5／C-6に合わせます。



■まつり縫い

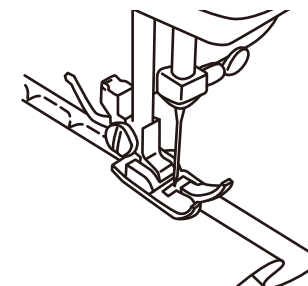
スカートやズボンのすそ上げ、裏地のある洋服の袖口の始末などに用います。

縫い方選択ダイヤル／縫い模様選択ダイヤルをA-2／A-3
B-2／B-3
C-2／C-3に合わせます。



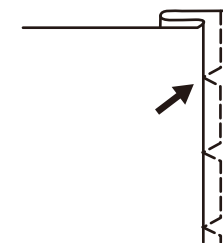
- ①縫いしろにしたい分だけ裏側に折り返します。縫いしろ部分をさらに表側に折り返します。

※折り返すとはアルファベットのZのような折리になります。この時、折山から0.4～0.7cm布端が重ならないように折り、待ち針で仮留めをします。



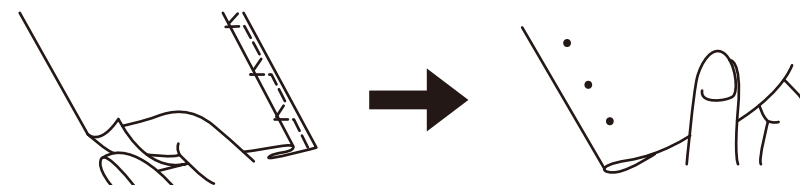
- ②針が折り山から外れないように縫い進めます。

※生地の色と同色の糸を使用することで、より目立たなく縫うことができます。



- ③針が左に落ちるとき、針が折り山をわずかに刺すように縫っていきます。

※折り山の端ギリギリの位置に針が落ちるときれいに仕上がります。



- ④布を表にひらくと出来上がります。

■縫ってみましょう（つづき）

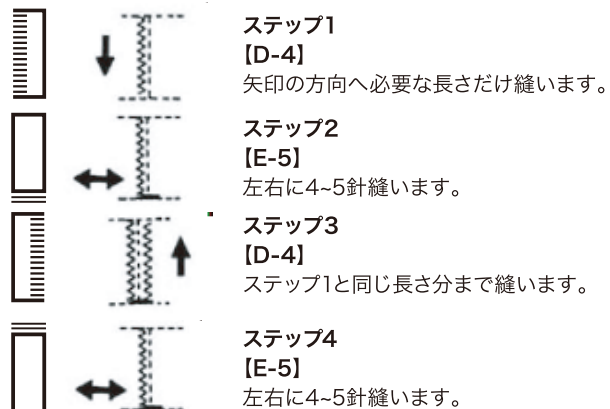
■ボタン穴縫い

ボタン穴のふちを縫う際に用います。

※袖口は横、前面の穴は縦に縫います。

電源ボタンを**遅い**に切り替え、生地の後側を引っ張り気味にするか、手前側をたるませて、生地を出来るだけ送りやすい様にしてください。

縫い方選択ダイヤル／縫い模様選択ダイヤルを、以下のステップに合わせて使用してください。



※縫い終わったらシームリッパーで中央の布地を切り開きます。その際、縫い糸を切らないように注意してください。

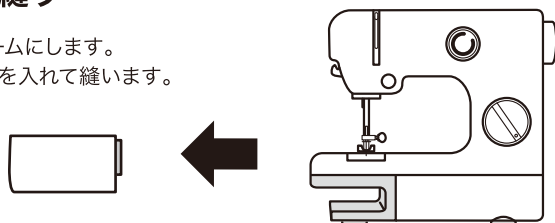
■返し縫い



縫い始めと縫い終わりに3~5針程度
「返し縫い」をしておく、縫い目がほころびません。
「返し縫い」をするには、縫い模様選択ダイヤルを
【F】に合わせて下さい。

■筒状になった部分を縫う

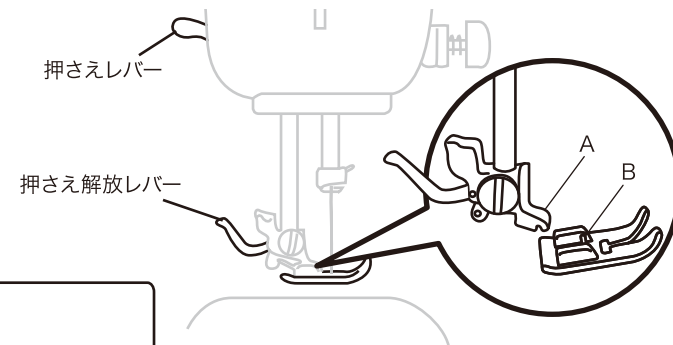
補助テーブルをはずしてフリーアームにします。
フリーアームに、筒型になった部分を入れて縫います。



■各部品の取付／取替方法

■押さえを取り付ける

- ①押さえレバーを上げると押さえが上がり。
- ②押さえ解放レバーを上げ【A】部分に【B】を引っ掛け、押さえ解放レバーを下ろします。



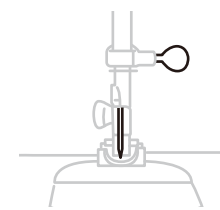
⚠ 注意

・必ず電源を切った状態で行ってください。

■針を取り換える



- ①プーリーを手前に回し、針棒を最上点に上げます。



- ②針止めねじをゆるめて針を外します。



- ③針の柄の平らな面を正面に向けて持ち針が針棒のピンに当たるまで差し込み針止めねじを締めます。

⚠ 注意

・必ず電源を切った状態で行ってください。

■故障かな？と思ったら

発売元にご相談になる前に、もう一度下記内容をご確認ください。
ご不明な点がある時は、保証書にある発売元へお問い合わせください。

症状	対処方法
ミシンが回らない	電源コードを正しくセットする。(P.8参照) 電源スイッチを遅いまたは速いの位置にする。(P.8参照) ボビンを正しい位置・向きにセットする。(P.12参照)
回転が重い	送り歯や水平かまにたまっている糸くずやごみを取り除く。 針が曲がっていたり先がつぶれていたら、新しい針と取り換える。(P.17参照)
布を送らない	押さえが下りているか確認する。(P.14参照)
縫い目が飛ぶ	布にあった針・糸を使っているか確認する。(P.19参照) 針が曲がっていたり先がつぶれていたら、新しい針と取り換える。(P.17参照) 針が針棒の一番奥まで入っているか確認する。(P.17参照) 上糸調子が強すぎたら弱くする。(P.14参照) 上糸が正しくかかっているか確認する。(P.10～P.11参照) 糸くずが水平かまにたまっていたら取り除く。
針が折れる	布を無理に引っぱらないようにする。 布にあった針・糸を使っているか確認する。(P.19参照) 押さえが正しく取り付けられているか確認する。(P.17参照) ボビンを正しい位置・向きにセットする。(P.12参照)
上糸が飛ぶ	上糸が正しくかかっているか確認する。(P.10～P.11参照) 上糸調子が強すぎたら弱くする。(P.14参照) 針が曲がっていたり先がつぶれていたら、新しい針と取り換える。(P.17参照)
下糸が切れる	糸くずがかまにたまっていたら取り除く。
縫い物にしわがよる	上糸調子が強すぎたら弱くする。(P.14参照) 針が曲がっていたり先がつぶれていたら、新しい針と取り換える。(P.17参照) 薄物に対して縫い目が大きい場合は小さくする。(P.13参照)
上糸がかまにからまって縫えない	上糸を少しゆるめて、プーリーを手前に回して糸を引き上げる。(P.12参照) かまに糸がからまっていたら、はさみで切って取り除く。

■よくある質問

Q1 どのような糸が適していますか？

A1 糸は付属の糸と同程度のもの、またはポリエステル60番をご使用ください。

Q1 うまく縫えないのですが？

A1 以下の場合うまく縫えない可能性があります。

- ・ ご使用の糸が太い（30番やジーンズ用など）
- ・ 布が厚い
- ・ 布が伸び縮みする、ツルツルしている
- ・ 布の表面にノリや加工（柄プリント等）がかかっている

■付属品の販売

各付属品をご購入される際は下記までご連絡ください。

発売元：株式会社クマザキエイム

〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-13-13 KM第一ビルディング4階

TEL：045-473-0002 FAX：045-473-5199

E-mail：info@kumazaki-aim.co.jp URL：http://www.kumazaki-aim.co.jp